



Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
●会長/井上賢明 ●幹事/岩崎 浩 ●会報/荒川圭三

現会員数76名

今週のお祝い

出席100%祝:27年 宮本守君 25年新納哲雄君

会長挨拶

新しい年を迎えて、身も心も引き締まってきましたが、大晦日からの大雪で大変な雪害となりました。全国のトップニュースもこの米子を取り上げられていました。

会員の中でも、9号線で40時間缶詰めになった方や、ギックリ腰になられた方もいると聞いています。被災された方もあるかと思えます。お見舞い申し上げます。

経済のほうも先行きの見えない状態でございますが、いずれにしても、いい年であるように願っています。

今年の干支は兎ということで、兎というのは理性と行動力を兼ね備えた動物だといわれられています。困難な時代になろうかと思えますが、困難に直面しても理性、積極的な行動力で切り開いていきたいものだと願っています。どうか皆様も、健康で笑顔の絶やさない1年になりますように心から祈念申し上げます

幹事報告

1. 2012-2013年度ガバナー候補者について
2. 2/5・6中四国3地区合同オリエンテーション (倉敷シーサイドホテル)
3. 2/15(火)西部地区5RC合同例会18:30~ (境港マリーナホテル)

*2/16(水)は休会

4. 例会変更のお知らせ

- 鳥取中央RC1/17(月)夜間例会 ビジター受付あり
倉吉東RC 1/20(木)⇒21(金) あり
松江南RC1/24(月)⇒26(水)松江4RC合同例会〃
境港RC1/25(火)夜間例会 ビジター受付あり
松江RC1/26(水)松江4RC合同例会〃
松江東RC1/27(木)⇒1/26(水)〃

今後の行事予定

1月19日 クラブ協議会

2月20日 中学生作文コンテスト表彰式



Let's Join!

すすんで参加しよう!

《プログラム》 年男放談



① 井上賢明 会長

ロータリーに20年、お世話になっているのですが、48歳になる時しゃべった記憶がありませんので、初めての年男放談ということになります。30代40代50代と年代ごとに目標を立てて突っ走ってきたように思います。9月には60歳になります。このロータリークラブでは平均的な年齢ですが、まだまだ実感がわきません。

会社のほうは、油業界で40年近く培ってきた知恵とか経験もありますので、役に立つのではあるのですが、過去の成功体験よりも、新しい時代にどのようにしてバトンタッチしていくかを考えているところです。家庭においては、子供たちも巣立ち、寂しいものですが、逃げられないように奥さん孝行して行こうかなと思っています。妻もスポーツ好きということで、数年前からゴルフに誘って、月に1回くらいはラウンドしながら、共通の話題を持つようにしています。

あと野球のことですが、来年は米子東ロータリー主幹で、全国大会を開催することになっています。その準備に向けてもうひと頑張りしたいと思っています。年齢的に選手生命の危機に陥っていますが、昨年9月から重り入りの靴を履いて鍛えています。若い時から、年より上に見られてきましたが、ようやく年相応になってきたのかなという気もしています



② 小林敬明 会員

昨年、証券取引所の大納会が30日まででありまして、正月休みが4日間と短かったのですが、関西の西宮でいい正月を過ごしました。TVを見ていたら、米子が随分有名になっていまして、大積雪には大変驚きました。1月4日の初仕事は、早朝6時からの支店の雪かきでした。還暦の私でも、ここまでできるということを手見せるために頑張りすぎたのか、先週はマッサージ店、温泉療養がよかったです。60年の人生を振り返ると、忘れられない出来事が二つあります。ひとつは平成7年1月17日の阪神淡路大震災です。私の自宅も全壊し、私自身も家屋で7時間ほど下敷きになりました。この時期が来ますと命の尊さをつくづく感じます。もうひとつは天安門事件です。当時、香港の現地法人に家族ともども赴任していました。日本大使館から厳戒令が出て、5日間ほど飲まず食わずの生活をしました。生きて帰れるのかなという、怖い経験をしました。最後に株式相場ですが、干支のアノマリーというのがあります。『兔』『辰』というのは通常より20%ほどパフォーマンスがいいそうです。今年の後半くらいからでも考えてみてはいかがでしょうか。



③ 井上雄介 会員

48歳になるわけですが、自分もおっさんに、なったなという思いと青年会議所の先輩諸氏から名前と呼ばれたりすると、まだまだ、ひよっこ、だなという複雑な思いです。

12歳の頃は、わが社の最大のピンチの頃でした。24歳の頃は、鋼材メーカーで東京の銀座でブイブイいわせていました。36歳の頃は青年会議所の活動のまっさかりでした。

そして今年、閉塞感を打ち破って明るい年にしたいと思っています。

うさぎ年のことですが。ことわざを調べますと「兎の祭分」「兎の糞」「兎の昼寝」などなど、あまりいいイメージのことわざがないのですが。「初めは処女の如く、後は脱兎の如し。」とあるように、最後になって真価を発揮するという性質があるそうです。

まだまだ未熟ではありますが、皆さまにかわいがってもらって立派な大人になりたいと思っています。